





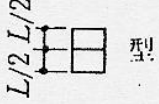
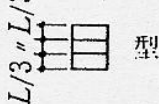


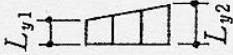
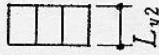
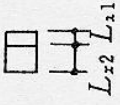
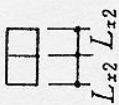
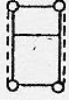
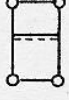
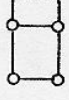
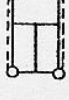
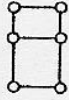
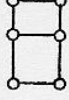
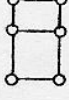
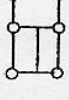


スラブ支保工存置期間の検討における仮定の例

	実 際	仮 定
スラブ架構型式	 型  型  型  型	 型,  型に分解して検討し, 所要強度の低い方とする.  型  型  型,  型に分解して検討し, 所要強度の低い方とする.
変形スラブ		
小梁位置のかたより		
壁(同時打ちRC壁)の取扱い  壁なし梁支保工は $F_0$ まで存置すること ○ 柱 — 梁 ---- 壁	 (日型)  (日型)  (日型)  (日型)	 (口型が2つ)  (口型が2つ)  (口型が2つ)  (口型と日型)